

HIYOSHI CAMPUS CALENDAR

January-February-March 2011

2011. 1. 1. 発行 第136号

慶應義塾大学(日吉)HIYOSHI CAMPUS CALENDAR 編集部(日吉キャンパス事務センター運営サービス内)編集・発行

国際センター主催プログラム参加者募集

2011年度 夏休みに行われるプログラムの参加者募集



<夏季在外研修>

アメリカ：ウィリアム・アンド・メアリー大学、ワシントン大学

イギリス：ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ、オックスフォード大学リンカーンコレッジ

<延世・復旦・立教・慶應リーダーシップフォーラム>

日中韓の学生が英語で語り合う、学生主導型、1週間の合同合宿形式プログラムです。2011年8月中旬もしくは下旬に中国・復旦大学で開催予定(開催場所は確定次第、以下国際センターウェブサイトにてお知らせいたします)。

【日吉キャンパスでの募集ガイダンス】

日 時：2011年4月5日(火) 16:30~18:00

場 所：日吉キャンパス第4校舎独立館 地下2階 DB201番教室

出願受付：2011年4月11日(月)、12日(火)(予定)

詳 細：国際センターウェブサイトで確認してください(国際センタートップページ(<http://www.ic.keio.ac.jp/>)から、「海外に関心のある塾生へ」「短期プログラム」「学内機関主催の短期プログラム」の表へと進んでください)。

2011年度慶應義塾大学派遣交換留学生



【第3期募集】

出願期間：2011年6月13日(月)~6月14日(火)

募集国：韓国(2012年春出発)、オーストラリア、ニュージーランド、アルゼンチン

詳細は「2011年度 留学のてびき・派遣交換留学生募集要項」または国際センターウェブサイト(www.ic.keio.ac.jp/keio_student/exchange/)で確認してください。最新の情報・変更点については当ウェブサイトにもアップしますので定期的に確認してください。「2011年度 留学のてびき・派遣交換留学生募集要項」は各キャンパス学生部国際担当およびSFC事務室で配布しています。

なお、出願書類の中に英語の語学能力証明書が求められています。各大学の募集要項を読み、TOEFLやIELTSのスコアを取得できるように春休み期間等を利用して準備・受験をし、出願期間内にスコアを提出できるようにしてください。



日吉キャンパス情報



慶應義塾外国語学校 日吉特別講座 2011年春学期受講生募集

日吉では、英語・ドイツ語・フランス語の3言語を開講します。春学期には初めて学ぶ方向けのクラスもありますので、語学学習に興味がある方はどなたでもお申し込みください。3月中旬に募集を行います。詳細はホームページをご確認ください。< http://www.fl.s.keio.ac.jp/hiyoshi/h_index.htm >
三田キャンパスでは12言語を開講します。< <http://www.fl.s.keio.ac.jp/> >

日 時：2011年4月15日(金)～7月25日(月)
場 所：日吉キャンパス第3校舎
問合先：慶應義塾外国語学校 [Tel]045-566-1030



慶應義塾コレギウム・ムジクム演奏会

日時：2011年1月12日(水) 18:30開演
(18:00開場)
場所：日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール
曲目：シュッツ：《マニフィカト》
ハイドン：《天地創造》第2部・第3部より 他
出演：ソプラノ：波佐間成美 テノール：大島博
バス：井口達
慶應義塾コレギウム・ムジクムオーケストラ &
合唱団
指揮：石井明、佐藤望
問合先：日吉音楽学研究室 [Tel]045-566-1359
【入場無料・事前申し込み不要(当日先着300名)】
会場定員に達しましたら受付終了となります。
ご了承くださいませ。



自然科学研究教育センター講演会(第10回)

日 時：2011年1月17日(月) 16:00～17:30
場 所：日吉キャンパス来往舎1階
シンポジウムスペース
参加費：無料(学生の来場歓迎)
会場準備の都合上、
塾外の方は事前申し込みをお願いします。
講 師：池上 晋氏
(自然科学研究教育センター訪問教授、
広島大学名誉教授)
題 目：「イトマキヒトデの初期発生に関する
化学生物学的研究」
問合先：自然科学研究教育センター事務局
(日吉キャンパス来往舎1階)
〒223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1
[Tel]045-566-1111
[E-mail]office@sci.keio.ac.jp
[URL]http://www.sci.keio.ac.jp/



Academic Writing Contest2010 授賞式

今年で10回目となるAcademic Writing Contestの今年度の受賞者を讃える授賞式です。当日は受賞者への賞状と副賞の授与を行い、審査委員による今年度の審査講評があります。応募された方もされなかった方も受賞者の栄誉を祝福していただきたいと思います。

日 時：2011年1月6日(木)18:20～18:50
場 所：日吉キャンパス第4校舎独立館
コミュニケーションラウンジ
問合先：外国語教育研究センター日吉事務室
[E-mail]works-flang@adst.keio.ac.jp

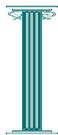


授業「アカデミック・スキルズ」

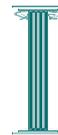
プレゼンテーション・コンペティション2010

教養研究センターが設置する授業、「アカデミック・スキルズ」の受講生が、一年間培ってきた「知の探求能力」を遺憾なく発揮して、研究課題のプレゼンテーションをします。ぜひご来場ください。

日 時：2011年2月7日(月)15:00～18:30
場 所：日吉キャンパス来往舎1階
シンポジウムスペース
問合先：教養研究センター
[E-mail]
toiawase-lib@adst.keio.ac.jp



慶應義塾大学日吉キャンパス 研究活動成果報告会 Hiyoshi Research Portfolio2010 開催のお知らせ



慶應義塾大学日吉キャンパスでは、日吉で実施されている研究・教育活動の内容とその成果を学内外に広く紹介し、地域・社会に還元するため、2005年度よりHiyoshi Research Portfolio (= HRP) という報告会を開催しています。

今年度は2009年度に引き続き、ウェブサイトでの研究成果報告会です。新企画として、研究者に自著を紹介していただく「著書紹介」のページを設けました。ぜひ、ご覧ください。

ウェブサイトHRP2009 - 2010 : [URL]<http://campus.hc.keio.ac.jp/ora/HRP/event/2010/>

著書紹介 : [URL]<http://campus.hc.keio.ac.jp/ora/HRP/books.html>

開催期間 : 2010年11月8日(月)~2011年3月31日(木)

* 開催期間には出展内容の更新、および関連イベントの広報をいたします。

問合せ先 : HRP事務局・日吉研究支援センター [E-mail]hrp-kikaku@adst.keio.ac.jp

日吉メディアセンター (日吉図書館)

【冬季長期貸出の返却期限】

冬季長期貸出資料の返却期限は1月13日(木)です。

* 返却期限に遅れると休館日を含め1日につき1冊10円の延滞料がかかります。

* 他地区メディアセンターでも返却できます。

【My Libraryを活用しよう!】

- ・自分が借りている資料の照会・更新(延長)
 - ・貸出中の図書や他キャンパス所蔵図書への予約・取り寄せ申し込み
- などがMy Libraryでできます。

<http://www.lib.keio.ac.jp/jp/search/mylibrary.html> または、

日吉図書館Webページ<http://www.hc.lib.keio.ac.jp/>の『keio.jp/My Library』からどうぞ。

【1月の臨時開館】

学期末試験にともない、日曜日の臨時開館を実施します。

1月16日(日) 10:00~18:00、1月23日(日) 10:00~18:00

* 慶應義塾在籍の学部生・大学院生・教職員および塾員が利用できます(学外者は利用できません)。

* 4階フロア、1階AVコーナー、地下1階AVホールの利用はできません。

レファレンスサービス、オペレータ付き複写のサービスは行いません。

【春季長期貸出】

対象資料と貸出期間

通常30日貸出の資料 1月6日(木)~3月14日(月)

通常14日貸出の資料 1月20日(木)~3月30日(水)

返却期限 4月13日(水)

但し 学部卒業予定の方の返却期限 3月12日(土)、大学院修了予定の方の返却期限 3月19日(土)

【春季開館日程】

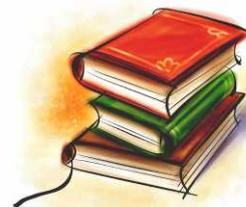
2月3日(木)~4月5日(火) 春季休業期間中の開館時間は以下のとおりです。

平日 : 8:45~18:00

土曜 : 8:45~16:00 (* 4月2日(土)のみ 8:45~18:00)

* 日曜・祝日は休館します。

* 入学試験および蔵書点検のため2月11日(金)~2月23日(水)の間は休館します。



【展示】「愛され、憎まれた天才マーラー」

2010年、2011年に生誕150周年、没後100年を迎える作曲家、指揮者のグスタフ・マーラーの展示を行います。自筆楽譜の複製や関連図書、CD、マーラーの音楽が使われた映像資料などを通して、その音楽や人柄を紹介いたします。

期間 : 2011年1月11日(火)~2月10日(木)

場所 : 日吉図書館1階展示ケース



港区 + 慶應義塾大学アート・センター アート・マネジメント講座2010
第3回公開講座 「再発見!! 港区にある豊かな芸術資源」



歴史のある港区には、江戸時代初期から現代に至るまでの、豊かな芸術、芸能に関する資源が眠っています。しばしば時代を先導した画期的な活動もすくなくありません。それらを区民らがみずから手で掘り起こし、発表してきた例や、現在すすめているプロジェクトを、映像をふくめ報告、今後の取り組みかた、実現にむけてのヒントや資金助成について紹介するとともに、その意味、意義を解説します。また地域と大学、芸術家の協働がもたらした成果についても紹介します。

日時：2011年1月22日(土) 13:30～15:30 (13:00開場)

場所：三田キャンパス 北館ホール

講師：片山 泰輔 (静岡文化芸術大学准教授)

高瀬真由子 (ヴァイオリニスト)

事例報告：上崎 千 (慶應義塾大学アート・センター訪問所員)

篠田 大基 (慶應義塾大学DMC研究センターリサーチ・アシスタント)

橋本 まゆ (慶應義塾大学アート・センター訪問所員)

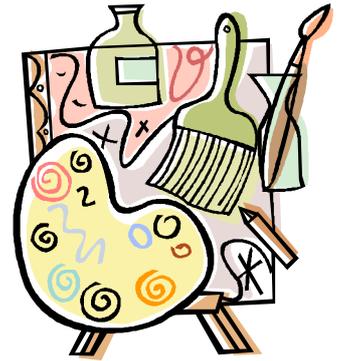
司会：美山 良夫 (慶應義塾大学アート・センター所長)

対象：港区区内に在住・在勤・在学の方 (定員200名)

ただし、慶應義塾の学生・生徒・教職員は、三田キャンパス以外でも可。

参加方法：事前申し込み不要・参加無料。当日、会場へ直接お越しください。

URL：<http://www.art-c.keio.ac.jp/event/log/326.html>



主催：港区 / 共催：慶應義塾大学アート・センター

拡張するジャズ 油井正一アーカイヴ開室によせて

日本のジャズ評論の草分けである油井正一(1918～98)は、1930年代後半に執筆およびDJ活動を開始、以後98年に没する直前まで、わが国のジャズに関する言説をつねにリードし続けました。20世紀のジャズは、世界的な社会構造とメディアの状況の激変とともに目まぐるしくその姿を変えつつ、領域を超えて多方面に影響を及ぼしています。油井のジャズ評論は、そんなジャズ文化を日本がどのように受け止めていったかを記録した、重要なドキュメントでもあります。

慶應義塾大学アート・センターでは、ご遺族から寄託を受けて、大学OBでもある油井正一のジャズ関連資料の調査を2003年より進めてまいりました。そして2011年1月、閲覧受付が開始されるこの機会にアーカイヴ開設によせて、油井の大きな仕事を振り返り、ジャズ史研究の未来をも考える講演会を開催いたします。

音楽家、文筆家として多彩な活動を展開されている菊地成孔氏、音楽ジャーナリストとして、また音楽教育の領域でも活躍されている中川ヨウ氏を迎えて、アーカイヴの資料の紹介を交えつつ、さまざまに変化しながら拡張するジャズについてお話いただきます。

日時：2011年1月22日(土) 17:00～19:30 (16:30開場)

場所：三田キャンパス 北館ホール (入場無料、事前申し込み不要)

講師：菊地 成孔 (音楽家、文筆家)

中川 ヨウ (音楽ジャーナリスト)

桑川麻里生 (慶應義塾大学文学部教授)

URL：<http://www.art-c.keio.ac.jp/event/log/327.html>

